

対象入学年度		対象学科名	
2016		建築学科	
科目名			
設計基礎演習I Basic Design I			
前後期	実施期	区分	単位数
前期	1年次前期	必修科目	1
担当教員			
木方十根、柴田晃宏、西田健一、朴光賢			
代表者教員連絡先等			
8307 kikata@aae.kagoshima-u.ac.jp			
授業の概要（目的と内容）			
<p>建築設計の基礎となる造形力を養うとともに、空間を図によって表現する技術を身につけることを目的とする演習である。</p> <p>多様なメディアを利用した造形課題を通して創造的な発想の基礎を身につけるとともに、図学的描写法の基礎を修得する。</p>			
受講学生が達成すべき目標			
<p>(1) 製図道具の使用法を理解し正確で美しい線を引く。</p> <p>(2) 図学的描写法を理解し、立体的形態を図面化する技術を習得する。</p> <p>(3) 創造的な発想法の基礎を経験する。</p>			
成績の評価基準			
<p>受講学生が達成すべき目標(1)～(2)に対応して以下に記載。括弧内は評価の比重。</p> <p>(1) 製図道具の使用法を的確に修得し、正確な線を引けるかを評価(20%)。</p> <p>(2) 簡単な図形や透視図などの作図作業において図学的に的確な手法を修得しているかを評価(50%)。</p> <p>(3) 様々な描画・造形を通してその表現力や創造性などを評価(30%)</p>			
授業計画			
<p>1) ガイダンス、製図道具の使い方、線の引き方</p> <p>2) 図形の表現方法と投影法-1 (分割、正多角形、展開、切断、相貫)</p> <p>3) 図形の表現方法と投影法-2 (正投影法)</p> <p>4) 図形の表現方法と投影法-3 (軸測投影法、斜投影法)</p> <p>5) 建築空間の表現法-1 (一点透視図法)</p> <p>6) 建築空間の表現法-2 (二点透視図法)</p> <p>7) 建築空間の表現法-3 (色彩・陰影表現)</p> <p>8) 建築空間の表現法-4 (スケッチ表現)</p> <p>9) 建築空間の表現法-5 (CG表現 その1)</p> <p>10) 建築空間の表現法-6 (CG表現 その2)</p> <p>11)～15) 基礎造形(5週)</p> <p>16) まとめの講評</p>			
授業時間外学習			
参考書・教科書			
<p>製図道具：取り揃えるべき製図道具については授業で指示する。</p> <p>教科書：大西正宜他著、「建築製図」,学芸出版社</p> <p>参考書：宮元健次著、「建築パース演習読本」,彰国社</p>			
オフィスアワ -			
毎週月曜日13:00～14:30			
修得しておくべき科目・必要な予備知識			
本演習の単位を修得しなければ、設計基礎演習IIを受講できない。身の回りの道具や家具、建築空間や都市空間に興味を持ち、観察すること。			
学科の学習・教育到達目標との関連			
学習・教育目標における本科目の分野は建築の基礎知識・能力(C1)で、授業時間は45時間である。尚、本科目は建築学科エンジニアリングデザイン教育の「デザイン教育関連科目」です。			

授業形態

アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニング（「その他」の内容）

アクティブ・ラーニング（授業回数）